



第1号

令和4年4月28日

庄和すずらん幼稚園

新しく入園された皆さま、そして、進級された皆さま、おめでとうございます。この“保育だより”は、すずらん幼稚園の園運営や教育理念、教育内容、教育方法、そして具体的な実践を、皆さまに知っていただく一助として、思いつくままに発表させていただく欄を“保育随想”“幼稚園情報”として、園長が担当し、毎月一回を目安に配布させていただくものです。

保育随想

★ 出会う！

木々の緑が美しい季節を迎えました。少し前にも普段目に付かない場所にも、沢山の桜がきれいに咲いて居ることに、驚きと共に、心躍る風景も味わって参りました。そして、幼稚園の竹林、冒険の森にも、沢山の形状の違う竹の子が勢いをもって空に向かって育つ力強い姿も感じさせて貰いました。新しく幼稚園に入園して来た子ども達の姿は、これらの春を迎えて精一杯にそれぞれの姿を形にしている自然の姿に重なります。私たちのこれまでの歩みは、これらの自然の移り変わりの中で、多くの人との出会いで自分の物語が作られて来ました。思い起こしますと、一生懸命に打ち込んだ時代にも家族も友人も居てくれたのだと改めて思うのです。思うように行かない時に孤独の中で過ごした時代も、何やら時が解決してくれたと思えるのですが、やはり、見て居てくれた人は居たのです。お陰で投げ出さずに前に向かって来れたのだと思うのです。どんな時にどんな人に出会えたのかは、その後の人生にも時間が経てば経つほど大きな存在に成って居ることに気付くのです。両親や家族だって当たり前前の存在ではないことにも思い至ります。思うことを思うようにやれて来れた！いやいや、思い通りには行かないことだらけでした！と言いたくなる方もお出でかと思いますが、目標を作って達成出来なかったから失敗なのかと申せば、それは勿体ないことで、一生懸命に生きてご自身の歩みの価値は失われて居ないことにも、ご自身を支える大きな力に成って来たのではないのでしょうか。断片的なお話しに成って来てしまいましたが、新しい集団の生活に入った子ども達のこれからは、いろいろな価値を持った自分と違う人たちとの生活で、一緒に活動できる喜びも大いに体験できることと思いますが、思うように行かない場面や友達と、自己主張と併せて仲良く出来る方法や道を探し出して行く毎日でもあります。生涯生きて行く為の学びの体験が始まったのです。どんなに嬉しいことが待っているのでしょうか。どんなに一生懸命にやれることに出会うのでしょうか。人間は知らないことを知りたい探求欲求も持ち合わせております。それが友達と発見出来たりするのです。昨日、今年一回目の、地震を想定しての避難練習を行いました。大人も子どもも、怪我をしないように気を付けて生きて居ること、病気にならないように気を付けていること、そして、誰もが自分の命は、自分で守って生きて居ることに気付いて貰うきっかけに致しました。子ども同士も大事です。周囲で過ごす先生も大事です。そして、生きる方法や価値を伝える、ご家庭の人達の言葉は、もっと大事です。家庭人でありながら、自立に向かって生きる子ども達の最大の環境人でもあります。これから成長を楽しみに丁寧に寄り添って参りましょう。